

| | | | | | | | |
|--|--|-----|------|---------|----------------------|----------|-------------------------------|
| 授業科目 (ナンバリング) | 地域振興論(CB203) (実践的教育科目) | | | 担当教員 | 城本 高輝 (実務経験のある教員) | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 2 年・後 期 | 必修・選択 | 選択 (コース 選択必修) |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティ ブラー ニング の類 型 |
| <p>現在、日本全国で「地域振興」が重要な課題となっており、地方創生の観点で地域戦略、観光振興、産業育成等の取り組みが、産官学連携のもと進められている。この授業では、エリアマネジメントや BID、都市計画、地域ブランディング、DMO 等、地域振興を理解する上で、重要なキーワードを学ぶ。そして、長崎の各地の具体的な事例（産官学連携の事例等）を広く理解しながら、地域振興を学術的かつ実践的に学ぶ。講義では、観光による地域づくりの課題についても言及する。</p> <p>授業の終盤には、地域振興の課題に対して、複数人のグループで協働しながら、解決策となる企画を考え、プレゼンテーションをしよう。</p> <p>上記を通して、学生が、将来関わることになる地域に貢献するために、主体的に企画立案できる能力を身につけることが本講義の狙いである。</p> | | | | | | | ①②③④⑩ |
| ホスピタリ ティを構成す る能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・ 方法 | 評価 比率 | |
| 専門力 | 地域振興に関する専門知識を身につけ、各エリアにおける地域戦略、観光振興、産業育成等を含めた改善策について、地方創生の観点から企画立案できる。 | | | | 課題レポー ト | 30% | |
| 情報収集、 分析力 | | | | | | | |
| コミュニケー ション力 | | | | | | | |
| 協働・課題解 決力 | 地域振興に関する知識を活用しながら、複数の人を巻き込みながら、課題を見つけ、改善策を提案できる。 | | | | プレゼンテ ーション | 70% | |
| 多様性理解力 | | | | | | | |
| 出 席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合 計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>地域振興論の専門力について確認・定着のため、課題レポートの提出を求める。その結果に基づき、30%の評価を行う。また、講義で学んだ知識を踏まえ、社会に出て役に立つ協働・課題解決力について確認・評価をするためのグループでのプレゼンテーションを課し、その結果に基づき 70%の評価を行う。なお、課題のフィードバックは授業中に適宜行う。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>日本全体で少子高齢化が進み、地方が衰退していく中で、現在、各自治体は産官学連携のもと、地域振興の観点で、地方創生に取り組んでいる。今後、どの地域で生活することになっても、地域振興に何らかの形で関わることになるであろう。この授業では、講義とグループワークを通じて、主に長崎の各エリアの地域戦略、観光振興、産業育成等について考える。地域振興については、総合的な視野が必要なため、授業は実務経験のある担当教員及び外部からの複数の講師によるオムニバス方式でも行われる。自治体の講師の話は、将来の就職を考える上でも、大いにヒントとなるであろう。定期試験は行わないが、レポート、プレゼンテーションで全ての評価を行うので、講義期間を通じて積極的・主体的な参加が求められる。</p> <p>なお、この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：地域振興論 小島照男 税務経理協会 参考書：都市・まちづくり学入門 日本都市計画学会関西支部 学芸出版社 指定図書：教科書、参考書と同じ</p> | | | | | | | |

授業外における学修及び学生に期待すること

講義内容の理解を深めるため、講義の予習・復習は必ず行うこと。特に、外部からゲスト講師が来た場合は、感謝の気持ちをもって、より静粛に、集中して授業を聴いてもらいたい。なお、この講義は前期に開講する「観光事業論」も併せて受講することにより、相乗的な学習効果を見込んでいる（ただし受講は必須ではない）。

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|----|------------------------|---|--------------------------------|
| 1 | 授業ガイダンス | 授業計画と成績評価の方法及び地域振興論の概略を理解する。 | シラバスを読んでくる。 |
| 2 | 地域振興の概要 | エリアマネジメントや BID について学ぶ。 | 授業前にテキストの該当箇所を読んでおく。 |
| 3 | 都市計画 | 都市計画に関連する法制度等について学ぶ。 | 授業前にテキストの該当箇所を読んでおく。 |
| 4 | 地方創生 | 地域ブランディングと DMO について学ぶ。 | 授業前にテキストの該当箇所を読んでおく。 |
| 5 | 長崎県の地域振興 | 長崎県の地域戦略、観光振興、産業育成等について学ぶ（自治体関係者を予定） | 当該エリアについてインターネット等で事前に情報収集しておく。 |
| 6 | 長崎市の地域振興 | 長崎市の地域戦略、観光振興、産業育成等について学ぶ（自治体関係者を予定） | 当該エリアについてインターネット等で事前に情報収集しておく。 |
| 7 | 佐世保市の地域振興 | 佐世保市の地域戦略、観光振興、産業育成等について学ぶ（自治体関係者を予定） | 当該エリアについてインターネット等で事前に情報収集しておく。 |
| 8 | 諫早市の地域振興 | 諫早市の地域戦略、観光振興、産業育成等について学ぶ（自治体関係者を予定） | 当該エリアについてインターネット等で事前に情報収集しておく。 |
| 9 | 大村市の地域振興 | 大村市の地域戦略、観光振興、産業育成等について学ぶ（自治体関係者を予定） | 当該エリアについてインターネット等で事前に情報収集しておく。 |
| 10 | 雲仙市の地域振興 | 雲仙市の地域戦略、観光振興、産業育成等について学ぶ（自治体関係者を予定） | 当該エリアについてインターネット等で事前に情報収集しておく。 |
| 11 | 五島市の地域振興 | 五島市の地域戦略、観光振興、産業育成等について学ぶ（自治体関係者を予定） | 当該エリアについてインターネット等で事前に情報収集しておく。 |
| 12 | 対島市、壱岐市の地域振興 | 対島市、壱岐市の地域戦略、観光振興、産業育成等について学ぶ（自治体関係者を予定） | 当該エリアについてインターネット等で事前に情報収集しておく。 |
| 13 | 長崎国際観光コンベンション協会 | 長崎国際観光コンベンション協会、DMO について学ぶ（協会関係者を予定） | 当該組織についてインターネット等で事前に情報収集しておく。 |
| 14 | 地域振興のブランドづくりを実際にやってみよう | これまで学んだ地域のブランドづくりに関する知識を踏まえ、実際に地域の課題を解決するための企画を考える。 | プレゼンテーションの準備 |
| 15 | 地域振興のブランドづくりのプレゼンテーション | 地域振興のブランドづくりのプレゼンテーションを実施してもらいます。 | プレゼンテーションの準備 |